



平成 18 年 5 月 26 日

各 位

会社名 株式会社ディーワンダーランド

代表者名 代表取締役社長 久野 哲彦

J A S D A Q ・ コード 9611

問い合わせ先

役職・氏名 取締役管理部長 大浦 隆文

電話 03-5421-6111

平成 18 年 9 月期通期業績予想（個別）の修正に関するお知らせ

平成18年9月期(平成17年10月1日～平成18年9月30日)通期の業績予想（個別）について、平成17年11月18日の決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 18 年 9 月期通期業績予想（個別）の修正（平成 17 年 10 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想（A）	694	62	△444
今回修正予想（B）	486	△92	700
増減額（B－A）	△208	△154	1,144
増 減 率（％）	△30.0	—	—
（ご参考）			
前期実績(平成 17 年 9 月期)	221	△82	△106

（金額の単位：百万円）

2. 修正の理由

平成 18 年 4 月 26 日付で発表いたしました「平成 18 年 9 月期中間期業績予想（個別）の修正に関するお知らせ」のとおり、当社は、当中間期（個別）におきまして、前期に受注いたしました

大型システム開発案件に大幅な遅れが発生しております。

このため、通期におきましても、大型システム開発案件の完成及び稼動後の運用サポート、システム保守業務、コールセンター、CTI、CRMに関するソリューション事業、新規のシステム受託開発とインテグレーション事業による売上の確保を目指しますが、大型システム開発案件の大幅な遅れにより案件の採算性が低下し、上記事業の立ち上がりも大幅に遅れることとなり、売上高は486百万円（当初予想比208百万円減）、経常損失は92百万円（当初予想比154百万円減）となる見込みであります。また、平成18年3月31日に株式会社大黒屋を子会社化したことにより、次事業年度から連結納税の開始を予定していることに伴い、株式会社大黒屋の最近事業年度における業績の動向に基づき、将来における当社グループの法人税上の課税所得を考慮した結果、税効果会計による当期純利益の調整項目として法人税等調整額1,274百万円を計上するため、当期純利益は700百万円（当初予想比1,144百万円増）となる見込みであります。

なお、平成18年9月期通期業績予想（連結）につきましては、同時に発表の平成18年9月期中間決算短信（連結）にて発表させていただいております。

（ご参考）株式会社大黒屋の最近事業年度における業績の動向

決 算 期	平成16年3月期	平成17年3月期	平成18年3月期
売 上 高	6,948百万円	7,845百万円	9,185百万円
売 上 総 利 益	2,805百万円	3,097百万円	3,372百万円
営 業 利 益	1,582百万円	1,759百万円	1,641百万円
経 常 利 益	1,477百万円	1,682百万円	1,685百万円
当 期 純 利 益	807百万円	1,029百万円	924百万円

注1．平成16年3月期及び平成17年3月期につきましては、税務申告ベースの業績であります。

注2．上記の業績に対しての会計監査は、継続中であります。

以 上